

富山県IoT推進コンソーシアム設立の目的・組織体制

設立の目的 及び 目的達成に向けた展開方向

■ 富山県IoT革新ビジネス活用研究会<報告書> (H28年度)

座長 森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター教授 (当時)

県内企業 (IoT活用企業、センサー開発・情報IT開発企業)

県内産業関係団体、県工業技術センター、県新世紀産業機構

【コンソーシアムの目的】

- 意欲ある県内企業が集い、意見交換を行う体制・仕組みを構築
- IoTの成功事例やメリット、最近の動向、国や県の施策等を知る
- IoT導入への**第一歩を踏み出すきっかけ**を創り出す
- 人材育成の観点から、県内大学・高専等の学生の斬新なアイデアを活用する
- 個々の企業がIoT活用のビジネスモデルを確立し、立ち立ちしていく、いわば**「卵の孵化器」としての「仕組み」を推進**していく



1 幅広い分野との交流・連携、IoT導入への意識醸成

『様々な企業が交流し、新たなビジネスモデルが生まれる姿』を目指す

→ 業種を問わず幅広い分野の企業や団体との交流連携

(244の企業・団体等から申し込みあり)

ものづくり		
観光	交通	サービス
防災	医療	福祉
エネルギー	保育	教育
農業	環境	建設

会員244 (8/31現在)



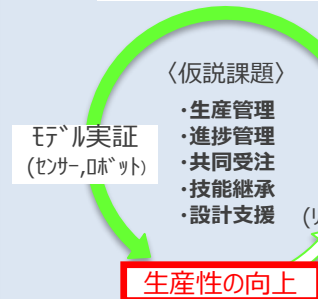
2 「生産性の向上」と「新たな付加価値の創造」

(『富山県IoT革新ビジネス活用研究会<報告書>』より抜粋)

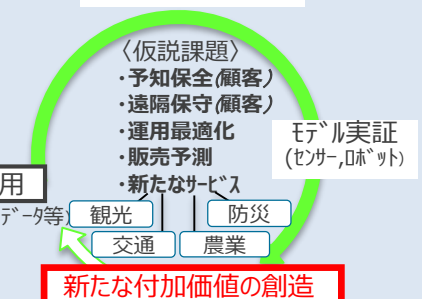
全国的な生産年齢人口の減少により、今後、人手不足が見込まれる中、県内企業にとってはIoT・AIなど、新たな技術を活用した第四次産業革命の進捗を踏まえ、「生産性の向上」に取り組む必要がある。

IoTを活用したサービス・製品の開発や、企業ニーズを実現するためのIoT活用手法、データ活用のアイデアなど、新たなビジネスモデルに繋がるプランを発掘し、育成するなど県内企業の「新たな付加価値の創造」への取組みを進める必要がある。

スマート工場等の提案



ビジネスモデル提案



組織体制

富山県IoT推進コンソーシアム

〈名誉会長〉石井隆一 富山県知事

〈会長〉大谷渡 県機電工業会会長 (=運営委員会委員長)

〈顧問〉森川博之 東京大学大学院工学系研究科教授

会員：IoTの導入や活用に関心のある企業・団体・大学・金融機関・個人

運営委員会 (17人: 運営に関する重要事項を審議・決定)

銀行協会、情報産業協会、機電工業会、プラスチック工業会、薬業連合会、繊維協会、アパレル産業協会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会、富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校、新世紀産業機構、県工業技術センター

全体会 (セミナー・交流会)

ワークショップ

青年委員会

↑ 協力

↑ 協力

↑ 協力

事務局：富山県

3 IoT等に対応できる人材の育成

○県内学生の積極的な参加

〔学生と企業人とがディスカッションしながら、学生自らシステム開発を提案する場を設ける〕

○青年委員会 で自由に意欲的なアイデア交換

